GCT□胞

300155

GCT□胞株は、線維性組織球腫の成人男性患者の肺から単離された巨 □胞腫（GCT）に由来し、医学研究分野においてその強固な生物学的活性で有名です。この株は、ヒト顆粒球前駆□胞に対してはコロニー刺激活性（CSA）を、赤血球前駆□胞に対してはエリスロポエチン様赤血球活性（ EEA）を産生し、造血□胞の制御と発達を研究する上で貴重なものとなっている。GCT□胞株の産物が標的とする顆粒球前駆体と赤血球前駆体は、それぞれ免疫反応における好中球機能と赤血球形成のようなプロセスを理解する上で鍵となる。
さらに、この□胞株によって調整された培地は、プロスタグランジン Eとプラスミノーゲン活性化因子の重要な供給源である。これらの物質はそれぞれ、炎症反応と線溶系において重要な役割を担っている。プロスタグランジン Eは炎症の調節と生理的バランスの維持に不可欠であり、プラスミノーゲン活性化因子は血栓の溶解に寄与する。 GCT□胞株の条件培地中にこれらの因子が存在することは、過剰な血栓形成や炎症に関連する心血管系疾患や病態に対処する治療戦略を開発する可能性を強調するものである。

概要

□明

GCT□胞株は、線維性組織球腫の成人男性患者の肺から単離された巨 □胞腫（GCT）に由来し、医学研究分野においてその強固な生物学的活性で有名です。この株は、ヒト顆粒球前駆□胞に対してはコロニー刺激活性（CSA）を、赤血球前駆□胞に対してはエリスロポエチン様赤血球活性（ EEA）を産生し、造血□胞の制御と発達を研究する上で貴重なものとなっている。GCT□胞株の産物が標的とする顆粒球前駆体と赤血球前駆体は、それぞれ免疫反応における好中球機能と赤血球形成のようなプロセスを理解する上で鍵となる。
さらに、この□胞株によって調整された培地は、プロスタグランジン Eとプラスミノーゲン活性化因子の重要な供給源である。これらの物質はそれぞれ、炎症反応と線溶系において重要な役割を担っている。プロスタグランジン Eは炎症の調節と生理的バランスの維持に不可欠であり、プラスミノーゲン活性化因子は血栓の溶解に寄与する。 GCT□胞株の条件培地中にこれらの因子が存在することは、過剰な血栓形成や炎症に関連する心血管系疾患や病態に対処する治療戦略を開発する可能性を強調するものである。

ティッシュ	肺
病気	未分化多形肉腫
転移部位	胸水

同義語

- Giant Cell Tumor

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

識別子

引用

GCT（Cytion カタログ番号 300155）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_1229

取り扱いと飼育

培地

McCoys 5a ′ w: 3.0g/L グルコース、w: 安定グルタミン、w: 2.0mM ピルビン酸ナトリウム、w: 2.2g/L NaHCO3 (Cytion article number 820200a)

培養雰囲気	37°C ′ 5%CO2、加湿雰囲気。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml ′ T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml ′ T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、 □胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、 □胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

播種密度	1~2 × 10^4 □胞/cm^2
流体の更新	週2~3回
解凍後の回復	解凍後、□胞を5×10^4□胞/cm^2で播種し、凍結処理からの回復と接着を少なくとも 24時間以上行う。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150~-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	29年

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB